

令和3年度 事業報告・決算報告について（概要）

1 事業報告

(1)認定 NPO 法人の更新

ひこばえは、寄付に対する税控除が認められる認定 NPO 法人の指定を受けており、本年は5年ごとの更新の年にあたりました。更新要件である収入の20%以上が寄付金であること、あるいは3000円以上の寄付者が年平均100人以上いることのいずれかを満たすこととされていますが、幸いにも皆さんの暖かいご支援により後者の条件を満たすことができ、更新手続きを無事完了することができました。

(2)面会交流支援の増加

本年は面会交流の調整、立ち会い等の業務が増加しました。

面会交流に関連しては、今、国会において、これまで日本で取られてきた単独親権制度を共同親権制度に改めようとするという動きがあります。

理屈の上では共同親権が望ましいといわれますが、現場を預かる私たちにとっては一概に望ましいとは言えないのが実情です。

今、面会交流は土日に設定されることが多く、それに伴うスタッフ不足も課題であり、ひこばえ内部においても取り組みを強化すべく、2022年度から面会交流支援部門を相談部門から独立させ、体制の充実を図っていく予定です。

2 決算報告

本年は、昨年度のような臨時収入がない一方で、必要不可欠な修繕のみを行うこととし、支出縮減に努めましたが、経常損益段階で約65万円の赤字となりました。赤字分についてはこれまでの内部留保で補填することができました。

（収入の部）

寄付金及び助成金については、昨年度、大口寄付やコロナ禍に伴う国からの持続化給付金200万円の交付がありましたが、今年度はその分が減収となりました。

一方、事業収益については面会交流の件数が増加したことにより、面接や立ち会い等による手数料収入が増加しました。

（支出の部）

事業費支出の増加は、面接・相談室の改修工事を行ったこと、管理費の減少は事務所改修工事が終了したことにより縮減です。

＜令和3年度決算結果と前年比較＞

区分	項目	R2年度 (円)	R3年度 (円)	構成比 (%)	増減額 (円)	前年比 (%)
収入の部	会費	419,000	511,000	6.3	92,000	122.0
	寄附金	1,619,000	985,500	12.2	△633,500	60.9
	助成金等	4,112,000	1,870,000	23.2	△2,242,000	45.5
	事業収益	4,356,035	4,714,089	58.3	358,054	108.2
	その他	17	13	0	△4	76.5
	合計	10,506,052	8,080,602	100.0	△2,425,450	76.9
支出の部	事業費	6,620,278	7,228,204	82.8	607,926	109.2
	管理費	3,187,829	1,502,684	17.2	1,685,145	47.1
	合計	9,808,107	8,730,888	100.0	△1,077,219	89.0
収支		697,945	△650,286		△1,348,231	